



The Latest Movie Scene

Forum *EYE*

映画監督 ピーター・グリーンウェイ
インタビュアー 諏訪敦彦

人為的な芸術であるシネマを、 どんな方法論で撮ろうか？

映画監督ピーター・グリーンウェイ氏は、独特の作風で知られている。緻密に構成された絵画的な作品を世界に発信し続けているのだ。2年前には、日本と香港を舞台にした『枕草子』を発表した。

そして現在、『8 1/2の女たち』(仮題)を日本などで撮影している。

4月下旬、東京国際フォーラムでロケが行われた際、映画監督・諏訪敦彦氏が訪問。お話を伺った。

同じ映画人だが異質な志向をもつ2人の対談は、異分野交流の様相も帯びていた。

たとえば、この建物もひとつのセットである

諏訪(以下S) ガラスホールでの撮影を見学させていただき、カメラ・ポジションを素早く決めることに驚きました。ヌーベルバーグの撮影のようだ(笑)。これまでの作品を観て抱いた予想とは違いました。

グリーンウェイ(以下G) 今日のテンポが普通なのではありません。スケジュールの問題です。昨日まで桐生ロケだったし、今日の夕方からは新宿で撮る。ヨーロッパ・ロケも間近です。そんな時には、それに合わせた撮り方をします。

S 僕は、前作を13日間で撮りました(笑)。編集には2カ月間かかりましたけど。グリーンウェイさんは、完成させるまでに時間をかけたいタイプなんじゃないかな。

G 『タイタニック』ができるまでにたしか1年かかったそうだ。でも私は、映画は長くても9カ月間で完成されるべきだと思っています。胎児が成長する期間だよ。

S それはハリウッド的システムに対する批判ですか。工場生産するようにはではなく、人間の生理に合ったリズムで創るべきだという意味ですか。

G あまり真剣に受け取らないでほしい。半分は冗談だから(笑)。でも、“9カ月”というのは持論だよ。受胎が製作開始だとすると、我々は、想像を重ねつつ撮影し、編集などを経て1本の映画を完成させる。一人の人間を創造するつもりで製作している。もっとも旧作の場合、撮影だけで8カ月間、トータ

ピーター・グリーンウェイ / Peter Greenaway

1942年、英国生まれ。美術学校を卒業後、画家として出発。'65年、フィルム編集者になる。初めて自主制作映画を撮ったのは'66年である。また一方では、画家、小説家、挿し絵作家としても活躍し続けている。映画作品には、『英国式庭園殺人事件』『コックと泥棒、その妻と愛人』『プロスペローの本』『枕草子』などがある。

諏訪敦彦 / Nobuhiro Suwa

1960年、広島県生まれ。10代後半から、インディペンデント映画製作に参加する。22歳以降、数多くの映画の助監督、演出補として活躍する一方、90年代に入ってからテレビドキュメンタリー演出も手がけ、同分野でも注目されている。劇場映画第一作『2 / デュオ』('97年)は、シナリオなしで状況のみを設定したという方法論の点でも注目された。役者やスタッフと共同で即興的に創りあげた作品である。現在、『2 / デュオ』を継承する新作を準備中。7月クラウンの予定だ。

ルで1年間かかった。胎児にもいろんなタイプがいるんだよ(笑)。

S これまでの作品に関しては、セット撮影の多さや絵画的な画面が印象に残っています。ワンカットごとの構図に相当こだわっていると感じました。ところが今回は、ロケで飛び回っていらっしゃる。撮り方がかなり変化しているように思えます。

G いや、私の手法は変わっていない。というのもロケ場所自体がセットだと思っているからです。照明感覚などで異空間化する。だからこの東京国際フォーラムも、私にとってはセットです。基本手法は変わりませんが、作品ごとに異なる試みをしています。今回は、クローズアップを多用しているし、ポスト・プロダクションについても腹案があります。私は、新しい作品に挑むことは、新しい出発だと思

映画のリアリティが、時代をえぐる芸術性に昇華するか

っています。すべての作品のベースや手法が同じだったらつまらないだろう(笑)。

S 同感です。では、映画監督のスタンスという大きなテーマに関して伺いたいんですが。バブル崩壊後の日本では、信じられないような事件が続発しています。オウム事件や少年殺人事件が一例です。そんな現在、僕はフィクションに限界を感じています。現実を超えるリアリティを映画で表現できないかと、模索しているわけです。

G まず断定的に言えば、私は、現実を自分自身の生活で体験している。映画は芸術であり、それは人為の産物です。たとえば現実の一断片を撮った瞬間、その画像からは現実世界が99%除去されている。まして映像が連続し、シーンが変わる映画において、リアリズムを追求することは時間の無駄だ。

S おっしゃることはわかります。しかし、スクリーンに映し出された映像は、観客にとってはひとつの現実です。つまり映画は、リアルさから逃れられない。映画の歴史は、そんなリアリズムに近づいたり離れたりを繰り返してきたのではないのでしょうか。

G たしかに映画の主流傾向は、振り子のように揺れている。しかし私は、芸術という観点から映画

を考えています。何世紀を経ても評価され続けている芸術家は、シェークスピアにしてもミケランジェロにしても、人為的にクリエイトした作品を問うた。それらは、ほんとうは幻想的であり、現実には存在しない要素を含んでいます。

S “現実の反映ではなく、反映の現実を”というゴダールの言葉を、僕はようやく理解し始めています。現実をありのままに描くことがリアリズムだとすると、映画はどこまでいってもフィクションではない。僕はけっして一般的なリアリズムをめざしているわけではありません。見せかけの現実感を作るのではなく、映画そのものを生々しい現実体験にする方法を模索しています。たとえばグリーンウェイさんの作品を観ると、あなたという現実をリアルに体験できる。

G ありがとう。ただし私の作品はすべて、想像の産物であり、きわめて人為的です。

S 『枕草子』では、個人的な妄想が単なる幻想シーンに終わるのではなく、独創的な現実感を醸成していると感じました。僕も別の道から、自分なりに



映画の現実感に迫りたいと思っています。

“しょせんフィクションじゃないか”という観客の醒めた態度に抵抗したい。“フィクションだが、ほんとうの現実なんだ”と言いたいです。やっかいなテーマですけど(笑)。

G 現実あるいは現実体験という言葉にとらわれすぎてるんじゃないかな(笑)。

S たしかに僕たち日本の若い映画監督は現実にとらわれすぎて、自分の日常や心象風景からなかなかジャンプできない。あなたのような壮大なイメージを創り出せていません。それが次の課題だと思っています。

パチンコを素材に、情念や男性の性的願望を描く

S グリーンウェイさんが今回の映画でパチンコを素材にとりあげたのはなぜですか。

G まず、パチンコをするという行為は、設計に似ています。球を弾きながら、次の場面を想像する。だが、思惑通りの結果にはならない。そこで頭の中の設計図に新しい線を加える、つまり球をさらに弾き出す。そんなパチンコに多くの人が没頭していることに、興味をもったのです。

S パチンコにのめりこんでいる女性を主人公の一人に設定しましたね。

G 私はけっこう日本通だ(笑)。女性のパチンコ中毒者が多いことも知っています。彼女たちの心の中には暗い部分があるはず。私の作品には、何かにとりつかれたり、何かに陶酔している人物が登場します。ノイローゼ患者であったり、ギャンブル中毒者であったり。今回は、女性パチンコ中毒者なのです。

S 仮タイトルは当然、フェリーニの『8 1/2』を意識されてるんでしょうね。

G もちろん、『8 1/2』は、きわめて内省的な映画であり、かつ男性の性的欲望を表現している。撮影中の作品も、その両面がモチーフです。

S モチーフを表現するための媒体として、パチンコ中毒女性の生理と混沌がある？

G 男性の性的欲望の俗悪さを表現したいね。

もちろん、フェリーニの頃とは時代が違う。フェミニズム運動もあつたし、男女の性的関係の様相も大きく変化した。セクシュアルな面からの、いわばポスト・フェミニズム的な状況も描きたい。

S どんな映画に仕上がるのか、楽しみです。

G サンキュー。



フォーラム内プラザ(上)、ガラスホール(下)で撮影中のグリーンウェイ監督と撮影クルー。



志向性の違う両監督の才能が接点を持った貴重な時間。

After Talk Session

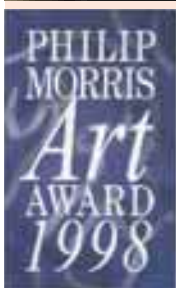
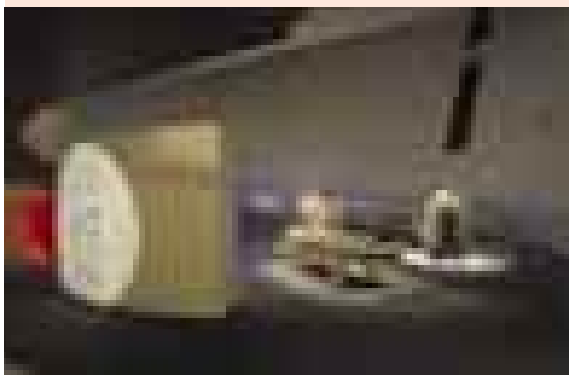
グリーンウェイ監督が作品を発想する際、イメージの原点は多彩である。母国のシェークスピアはもちろん、各国の古典・文化にわたっている。また製作スタッフ編成も撮影舞台も、国境を超えている。たとえば衣装デザイナーを務めるワダエミさんは、7、8年前からのコラボレート仲間である。そのワダさんが、東京国際フォーラム・ロケのきっかけをつくった。グリーンウェイ監督は、イメージに最適な空港シーンのロケ場所を探しあぐねていた。その懸念を抱いての移動中、ワダさんが新幹線の窓から指さし、「あの建物はどう？」と提案したのだ。見学に来たグリーンウェイ監督が「ここは使える」と即断。この日のロケが設定された。

さて予想通り、両監督のスタンスはかなり違った。「私は映画監督というより、アーキテクトである」と自称するグリーンウェイ監督は、いわば何世紀も残る建造物をめざしているのだろう。対して諏訪監督は、建造物自体もさることながら、映画の受け手である観客にどんな体験を与えるべきかを眼目にしている。その時々々の現代日本をえぐる手法を、製作のたびに追求しているのだ。

もちろん、2人の基本的な部分は共通している。だが、流派が違う。対照的なふたりゆえに、エキサイティングな交流だった。

Forum *Excitement*

forth coming



フィリップ モリス アート アワード 1998
ファイナルセレクション
6月30日(火)~ 7月10日(金) 展示ホール
若きアーティストをサポートするプロジェクト。最終審査展とシンポジウムが開催される。

フリオ・ポッカ&パレエ・アルゼンチーノ
6月29日(月) 6月30日(火) 7月4日(土) 5日(日) ホールC
クラシック・パレエとアルゼンチン・タンゴが融合した魅惑の舞台。



大英国展
7月22日(水)~ 8月30日(日) 展示ホール、ロビーギャラリー
「英国祭 98」最大のイベント。「大英科学博物館展」と「英国ライフスタイル展」で構成される。



国際公共交通連合アジア太平洋委員会
7月22日(水) 7月23日(木)
D-501他
日本で初めて開かれる各国の公共交通機関の
アジア太平洋委員会。



ブロードウェイミュージカル・ビッグ・夢はかなう~
7月18日(土)~ 8月30日(日) ホールC
ブロードウェイの舞台が日本語のミュージカルとしてフォーラムに登場。
出演、唐沢寿明、酒井法子、宝田明、高畑淳子 他。



モントルー・ジャズ・フェスティバル in Japan
8月13日(木)~ 8月16日(日) ホールA、ホールB
世界3大ジャズ・フェスティバルのひとつが遂に日本に上陸。ジョージ・デューク他一流アーティスト
が出演する。

after report



東京シティ・フィル
東京国際フォーラム定期 98フォーシーズンズ「夏」
6月8日(月) ホールC
若手指揮者、演奏家と名曲プログラムでお送りする意欲的なシリーズ5回目。



第15回日本呼吸器外科学会 / 第5回国際胸腔鏡学会
4月29日(水・祝) ホールC他
学会とともに劇団四季による特別エンタテインメント・プログラムも上演された。
劇場を持つフォーラムならではの試み。



JMA世界マーケティング会議
4月13日(月) 4月14日(火) ホールC他
新しいマーケティングを探求する国際会議。



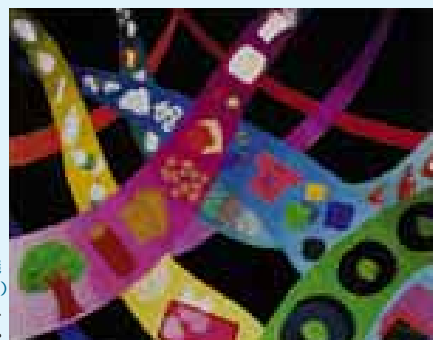
デビッド・カッパーフィールド
ドリームス&ナイトメアーズ
ツアー
4月28日(火)~ 5月5日(火・祝)
ホールA
マジックを超えたイリュージョンで
ホールA、5000席の観客を魅了。



ドリームズ・カム・トゥルー コンサート
4月16日(木) 4月17日(金)
ホールAより全国30会場へ、史上最大規模の同時衛星生中継ライブ。



瀬戸内寂聴訳「源氏物語」完成記念講演会&シンポジウム
4月4日(土) ホールA
瀬戸内寂聴、林真理子、篠田正浩ほか「源氏物語」の魅力語る。



エコ・パートナーシップ東京会議
5月26日(火)~ 5月29日(金)
“環境型社会の文明を創る”をテーマに、講演、パネルディスカッション、
展示、スタディツアーなど多彩な内容の会議。

Forum Art

Bブロック5階のレセプションホール・ロビーから7階ホールBのロビーまで、メゾネットを挟んだ吹き抜け空間に赤と黒の大きなパネルがある。国際フォーラムのためにエルズワース・ケリーが制作した作品で、スタンダールの小説にちなんで《赤と黒》と題されている。直線と緩やかな弧を描く曲線で囲まれた赤と黒のパネルは、極めてシンプルで幾何学的でありながらも、その不均整な形態や配置によって観るものに力強い動性と不思議な有機性を感じさせる。

ケリーの作品に見られる形態や色彩は、丘陵の曲線や山の稜線、樹木の枝の重なりが偶然つくる形態、太陽の光によってできる陰影など、日常的に彼の目に映る自然の風景から切り取られており、《赤と黒》が空間と美しく調和しながら、独自の確固たる存在感を持っているのも、その背後に雄大な自然を備えているからなのではないだろうか。

(東京国際フォーラムアートワークワーキンググループ 片岡真実)



エルズワース・ケリー《赤と黒》
アルミニウムに着色
309.7×781.3×5.1cm【黒いパネル】、705.0×306.7×5.1cm【赤いパネル】、1996
photo: SAITO Sadamu & MISAWA Toru

Forum Voice

世界中の観客にイリュージョンの魅力を届けるデビッド・クーパーフィールドの「ドリームス&ナイトメアーズ ツアー」が、東京国際フォーラム・ホールAで開催されました。4月28日から5月5日までのゴールデン・ウィークにイリュージョン・ワールドを堪能しに会場したファンの声聞いてみました。

「テレビで何度も見たけれど、それ以上の感動がありました。音楽のアレンジも良かったし。ホールやロビーも絨毯がほどよいクッションになり、足に負担がかからずに歩きやすかった」(女性60才、女性40才)

「あまり期待していなかったのに、おもしろくてびっくりしました。宙を飛びシーンでは感動して鳥肌が立ったほど。後ろのほうの席でしたが、舞台はよく見え大満足です」(男性22才、女性22才)

「すべて良かった。2時間があったという間に過ぎた感じがします。ここには初めて来たけれど、シートの座り心地も良いし、駅から近いのに、緑もあって気持ちの良い空間ですね」(男性42才、女性42才)

「どんな仕掛けになっているのかと目を凝らして観ていたけれど、いつの間にかそんなことも忘れて夢中になってしまった。このホールがある空間も、いままでの施設とは違い、外国に来たような新鮮な印象ですね」(男性19才、女性19才)

*「ForumVoice」にご感想をお待ちしています
東京国際フォーラムで開催されたイベントや、広報誌「ForumForum」誌面について、そのほか東京国際フォーラムに関することなら何でも結構です。ご意見、ご感想をお寄せください。氏名、年齢、住所、電話番号、参加されたイベント名、開催日をご記入の上、下記までファクシミリにてお寄せください。採用された方には記念品をさしあげます。

《ForumForum編集部》 Fax. 03-5468-1882

Forum Topics

ビア&カフェテラス「パームガデントリコロール」新緑の季節を終え、いよいよ夏本番。Aブロックのプラザに面した2階に位置するビア&カフェテラス「パームガデントリコロール」では、テラスでお食事が楽しめます。3種類の日替わりランチも人気がありますが、とくにおすすめするのが、ホーム・メイド・ケーキ。温製アップルパイやマンゴのシャルロット、スコーンをはじめとする6種類のケーキは、ボリュームたっぷり、甘さも適度に控えてあり、男性にも好評です。また、17時からのビア・タイムには、果実ビールやカクテルがメニューに加わります。落ちついた午後のひととき、仲間と集うビア・タイムをオープン・テラスでお楽しみください。



営業時間：10:00～22:00 年中無休
テラスは4/1～10/31にオープン
tel.03-3287-2533

「フォーラムアートショップエキジビション・スペース」Bブロック1階の「フォーラムアートショップ」に併設されている「エキジビション・スペース」では、「日常生活とアートの接点の場」をテーマに、『和』の趣を秘めたコンテンポラリー・アートの企画展が(常時4～6週間)開催されています。7/12までは獣毛(フェルト)を使った造形作家・眞田岳彦の「身体と生命のキワノ際」が開催されます。また、開催期間中アートショップではイッセイ・ミヤケのアシスタント・デザイナーでもあった眞田岳彦のデザインによる絹のジャケットも限定販売される予定です。「アートは特



別なものではなく、日常に存在するもの”であることを、「エキジビション・スペース」では体験できます。

小林正味展 会場風景

営業時間：10:00～20:00 年中無休 tel.03-3286-6716

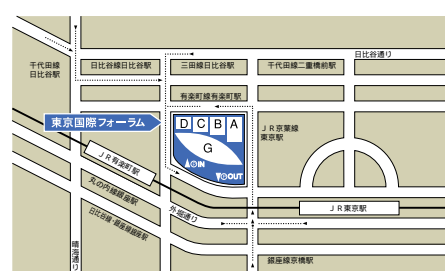
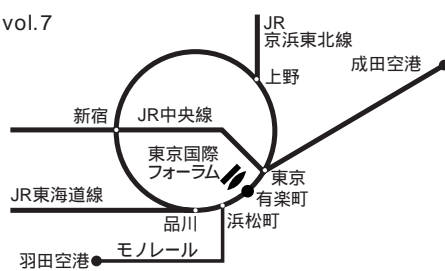
日本音響学会技術開発賞を受賞
専用ホールに匹敵する音響空間を実現した東京国際フォーラム。その新技術の開発と導入(振動・防音制御、各ホールの室内音響設計、ホールAおよびホールDの音場制御 A F Cシステム など)に対して第6回日本音響学会技術開発賞が贈られました。



TOKYO INTERNATIONAL FORUM
東京国際フォーラム

東京国際フォーラム広報誌 フォーラムフォーラム vol.7

編集・発行 / 財団法人東京国際交流財団
編集協力 / (株)大倉社 (株)アム アソシエイツ
デザイン / (株)高橋 稔 デザイン室
発行日 / 1998年6月15日
〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目5番1号
Tel.03-5221-9000(代) Fax.03-5221-9011
インターネットホームページ=http://www.tif.or.jp
ファクシミリ情報サービス FAX 03-5221-9105
ご利用について
お申し込み・お問い合わせ=Tel.03-5221-9050



「ForumForum」は、東京国際フォーラムとご利用いただく皆様とを結ぶ季刊誌です。
東京国際フォーラムで行われるイベントのスケジュール、詳細に関しては、「ForumCalendar」(隔月刊で発行)を併せてご利用ください。

JR線
東京駅より徒歩5分
(京葉線東京駅と地下1階コンコースにて連絡)
有楽町駅より徒歩1分(国際フォーラム口)
地下鉄
有楽町線 有楽町駅と地下1階コンコースにて連絡